

あなたにとってのマスターピースを掴み取れ！ 『シブヤピクセルアートコンテスト2021』開催決定！

～出口の見えないコロナ禍で、5度目の開催～

応募期間：2021年5月1日(土)～6月30日(水)

シブヤピクセルアート実行委員会は、今年で5回目となる「シブヤピクセルアートコンテスト2020（以下、本コンテスト）」を、2021年5月1日(土)より特設ページで開催し、国内に留まらず世界中から多様な「ピクセルアート」作品を募集いたします。



本コンテストは、「ピットバレー」と呼ばれる渋谷を舞台に毎年開催される「ピクセルアート」に特化した世界最大級のコンテストです。
応募者は、国籍・年齢・性別・社会人・学生・団体・個人いずれも問わず、TwitterやInstagramを通じて、世界中どこからでも応募が可能です。

今回は、「シブヤ」「花火」「乗り物」「虹」「空飛ぶ生き物」のいずれかのテーマ、または、それらの組み合わせを「ピクセルアート」で表現。応募期間中、TwitterまたはInstagramで、「Shibuya Pixel Art」公式アカウントをフォローし、自身が制作したイラスト、アニメ、映像、彫刻、刺繍、写真、ゲームなどを「#shibuyapixelart2021」のハッシュタグと「作品タイトル」を付けて投稿いただきます。

審査員には、「チームラボボーダレス」の仕掛け人で、MEDIA AMBITION TOKYO理事で森ビル株式会社の杉山央氏をはじめ、Louis Vuitton Travel Bookの日本版アートワークやゆずの最新アルバム『YUZUTOWN』のジャケットビジュアルを手掛けたピクセルアート界のレジェンドeboy、ファイナル・ファンタジーシリーズのアートディレクションを担当し、「ドット絵の匠」として広く知られる渋谷員子氏、The Master of Pixel Art bookの著者で25年以上もピクセルアーティストとして活動するKlas Benjaminsson氏、日本で初めてピクセルアートをブロックチェーン化し作品を発表したヘルミッペ氏、そして、昨年の「ピクセルアートコンテスト」で最優秀賞を受賞し、今回のキービジュアルを担当したmae氏など、すべての審査員がピクセルアート経験者で海外審査員2名を含む多様な顔ぶれとなっています。

受賞作品は、9月に渋谷で行われるイベント『シブヤピクセルアート・リポート』で展示されるほか、『ピクセルアーティストコレクションブック』にも作品が掲載されます。そのほか、今年から「審査員賞」を設け、一人の熱狂的な一票で賞がもらえる仕組みが導入され、協賛企業からは渋谷にある旗艦店で受賞アーティストがコラボ展示できる「adidas特別賞」なども用意されています。

応募締め切りは、2021年6月30日（水）24:00です。ぜひ奮ってご応募ください。

詳しくは、[「https://pixel-art.jp/」](https://pixel-art.jp/)をご覧ください。

昨年の受賞作品は、[「https://pixel-art.jp/contest/」](https://pixel-art.jp/contest/)をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

シブヤピクセルアート実行委員会 担当：坂口・川勝・小野
TEL：03-6896-3611 / MAIL：shibuyapixelart@gmail.com

■「シブヤピクセルアートコンテスト2021」の募集内容

【応募要項】

「シブヤ」「花火」「乗り物」「虹」「空飛ぶ生き物」のいずれかのテーマ、または、それらの組み合わせを「ピクセルアート」で表現。応募期間中、TwitterまたはInstagramで、「Shibuya Pixel Art」公式アカウントをフォローし、自身が制作したイラスト、アニメ、映像、彫刻、刺繍、写真、ゲームなどを「#shibuyapixelart2021」のハッシュタグと「作品タイトル」を付けて投稿。

【スケジュール】

一次審査：2021年7月中旬

最終審査：2021年7月下旬

受賞ノミネート発表：8月上旬～中旬

※最優秀賞・優秀賞ノミネート作品、特別賞・部門賞受賞作品はここで発表されます。

受賞展示：2021年9月18日（土）～（予定）

表彰式：2021年9月19日（日）～（予定）

※最優秀賞・審査員賞は、表彰式にて発表されます。

【応募資格】

国籍 / 年齢・性別 / 社会人・学生 / 団体・個人 いずれも不問

【応募方法】

期間中、TwitterまたはInstagramで、「Shibuya Pixel Art」公式アカウントをフォローし、自身の「作品タイトル」と「#shibuyapixelart2021」のハッシュタグを付けて投稿。

【審査員】

・森ビル株式会社 新領域企画部 / 一般社団法人MEDIA AMBITION TOKYO理事 杉山央氏

・株式会社スクウェア・エニックス CGデザイナー / アートディレクター 渋谷員子氏

・ピクセルアートグループ eBoy

・Master of Pixel Art book著者 / ピクセルアーティスト ハンドルネーム"Prowler" Klas Benjaminsson氏

・ピクセルアーティスト / SPA2017 BAN-8KU賞、SPA2018優秀賞&メディコム・トイ賞、SPA2020優秀賞受賞者 ヘルミッペ氏

・ピクセルアーティスト / シブヤピクセルアート2020最優秀者 mae氏

【審査基準】

審査員が、特に重視するポイントは、以下3つの観点です。

●独自性（Originality）・・・「ジブン」らしさや「個性」

●社会性（Sociality）・・・社会との「関係性」や社会に対する「問い」

●構成力（Story-telling）・・・与えられたテーマに対する「表現」、その鋭さや深さ、美しさ

これら3つの観点から審査員が一番共感できた作品をそれぞれ選出します。

【賞品】

※全審査員による最終審査にて、『ピクセルアート』の独自性、社会性、構成力の3つの観点で、優れた作品に贈られます。

■**最優秀賞（1名）**：賞金30万／Wacom One 液晶ペンタブレット 13／2021年9月中旬に渋谷で展開される「Shibuya Pixel Art 2021」で受賞者の作品を展示＆紹介／2021年9月にスクランブル交差点Q FRONTの巨大サイネージで作品放映／「Shibuya Pixel Art 2021 Collection Book」に掲載／トロフィー

■**優秀賞（10名）**：Wacom Intous ペンタブレット／2021年9月中旬に渋谷で展開される「Shibuya Pixel Art 2021」で受賞者の作品を展示＆紹介／「Shibuya Pixel Art 2021 Collection Book」に掲載／トロフィー

■**審査員賞（6名）**：最優秀賞・優秀賞の中から審査員賞が選出されます。

■**adidas特別賞**：2021年9月に渋谷にあるアディダスショップ（adidas Brand Core Store Shibuya / adidas Brand Center RAYARD MIYASHITA / adidas Originals Flagship Store Tokyoのいずれか）にて受賞展示

■部門賞：

Limited Pixel Art賞（4名）・・・制限された升目や少ない色数で、芸術性に富んだ作品。

Analog Pixel Art賞（1名）・・・デジタル表現に留まらず、アナログで、最も意外性に富んだ作品。

Beyond Pixel Art賞（1名）・・・表現手法に拘らず、「ピクセル」を再定義し、最も独創性に富んだ作品。

Pixel Art GIF Animation賞（1名）・・・最もストーリー性に富んだGIFアニメーション作品（新設）。

※特別賞及び部門賞は、審査員による審査に加え、協賛企業や協力団体とともに決定いたします。

■「シブヤピクセルアートコンテスト2021」の審査員



特別審査員：杉山央

森ビル株式会社 新領域企画部／一般社団法人MEDIA AMBITION TOKYO理事

学生時代から街を舞台にしたアート活動を展開し、2000年に森ビル株式会社へ入社。タウンマネジメント事業部、都市開発本部を経て六本木ヒルズの文化事業を手掛ける。2018年「MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless」企画運営室長として年間230万人の来館者を達成。世界で最も優れた文化施設等におくられるTHEA Awards、日経優秀製品サービス賞 最優秀賞等を受賞。現在は、新領域企画部にて未来の豊かな都市生活に必要な文化施設等を企画している。



特別審査員：eBoy

ピクセルアートグループ

eBoyは、カイ・フェルメール、シュテファン・ザウアータイグ、スヴェント・シュミタルの3名からなるグループ。アディダスやブレイステーション、ルノー、グーグルなど様々な企業と協業し、近年ではLouis Vuitton Travel Bookのアートワークやゆずの最新アルバム『YUZUTOWN』のジャケットビジュアルを手掛ける。eBoyを駆り立てる基本的なアイデアは、新しい「デジタルツール」や新しい「メディア」を使うこと。「画面」に直接作業することで、「ピクセル」を操り、モジュールのシステム環境が進化し、結果的に複雑なものがリッチなアートワークを生み出している。



特別審査員：渋谷員子

株式会社スクウェア・エニックス
CGデザイナー／アートディレクター

『ファイナルファンタジー』シリーズではキャラクターを中心としたドット絵の制作を担当。「ドットの匠」として広く知られ、その作品の数々で多くのファンを魅了している。



特別審査員：Klas Benjaminsson氏

起業家 / ピクセルアーティスト ハンドルネーム"Prowler"

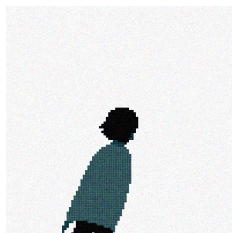
「The Masters of Pixel Art book」シリーズの作成者。ピクセルアーティストとして約25年活動。



特別審査員：ヘルミツベ

ピクセルアーティスト / SPA2017 BAN-8KU賞、SPA2018優秀賞 & メディコム・トイ賞、SPA2020優秀賞受賞者

ユニクロやadidasなどのブランド、ミュージシャンDaokoへのアートワーク提供や、展示イベントを通じた作品の発表を行う。その他、リソグラフ、刺繍、ドローイング、VJ、カセットテープ、ZINEなど制作。



特別審査員：mae

ピクセルアーティスト / SPA2020 最優秀賞受賞

1993年生、神奈川県出身。元小学校教諭。現在は主にMV（CDジャケット）、CM等で映像作品やループGIFを中心としたピクセルアートを制作している。Shibuya Pixel Art Contest 2020 最優秀賞受賞。

詳しくは、「<https://pixel-art.jp/>」をご覧ください。

■「シブヤピクセルアート」とは

- ・2017年に産声をあげた「世界最大級のピクセルアートコンテスト&フェスティバル」です。ITバブル期の1990年代後半に「ビットバレー」と呼ばれた渋谷を舞台に毎年開催しています。
- ・過去4度のコンテストでは、プロアマ問わず様々な国・世代の方々にご参加いただき、ご応募いただいた作品総数は3,276点に及びます。
- ・TwitterやInstagramを活用したオープン形式のコンテストは世界中のピクセルアーティストやピクセルアートファンから注目を集めています。
- ・「街・ストリートを舞台に、誰もが主役となり、実験を繰り返す」を理念に掲げ、コンテスト受賞作品や招致アーティストの作品を街にインストールすることで、公共関与とさせながらピクセルアートの可能性を探り、その発展と普及を目指して活動しています。
- ・2020年9月のコロナ禍に開催されたイベントで、メイン会場となった渋谷ヒカリエと渋谷区公認の「バーチャル渋谷」にて作品が展示され、表彰式や重特別展示を含め総勢1,000名以上が来場し、ピクセルアート作品に触れていただける貴重な機会となっています。
- ・こうした活動は、アディダスやシュウ・ウエムラ、メディコム・トイ、ゆずなど、国内外の有名ブランドやアーティストとのコラボレーションのきっかけとなり、ピクセルアーティストの「自信」や「モチベーション」につながっています。

■「SHIBUYA PIXEL ART」の歴史

2017年7月

ピクセルアートの試験的なイベントとして、渋谷LOFTや西武渋谷など、渋谷駅周辺13カ所で展開。期間中、SNSを活用した世界初のピクセルアートコンテストに200名以上が参加。ナノブロック®で制作するハチ公の映像が13.4万回以上再生され話題に。東京新聞朝刊「東京発」にメインビジュアルが掲載される

2018年3月

第2回目となるシブヤピクセルアートコンテストを開催。コアなピクセルアーティストを中心に281作品が集まる

2018年6月

LINE株式会社とピクセルスタンプコンテストを開催。最優秀作品が「斜めドット」として5,715件リツイートされTwitter上で炎上。「ピクセルアートとは何か?」「ピクセルアートの定義とは一体何か?」と論争を巻き起こす

2018年7月

シブヤピクセルアート2018をキャットストリート沿いにて開催。発売40周年を迎えた「スペースインベーダー」とコラボし、観客動員数4,780名を記録。ピクセルアーティストZennyan氏の呼びかけにより「ピクセルアート」座談会を実施。熱狂的な参加者との議論は4時間にも及ぶ

2019年2月

第3回目となるシブヤピクセルアートコンテストを開催。世界中から895作品が集まる。「Limited Pixel Art賞」「Analog Pixel Art賞」「Beyond Pixel Art賞」の部門賞が新たに設置。7歳の最年少受賞者を生む

2019年6月

シブヤピクセルアートコンテストの受賞作品が、「Shibuya Pixel Art Graffiti」として渋谷駅周辺約100カ所に展開される

2019年9月

シブヤピクセルアート2019を渋谷キャストで開催。「現代の妖怪」をテーマにしたピクセルアートの企画展や「ピクセルアートとブロックチェーンの可能性」などをテーマにしたトークショーも実施。青空の下、ピクセルアートブースでの物販などに総勢26名のピクセルアーティストが参加し、観客動員23,000名を記録する

2019年11月

ヨーロッパ最大の公共放送「EURO NEWS」から取材を受ける。渋谷まちびらきや渋谷パルコのアートワークにピクセルアーティストが次々参画する

2020年5月

新型コロナウイルス感染拡大を受けた緊急事態宣言下で、第4回目のシブヤピクセルアートコンテストを開催。ピクセルアート界のレジェンド、eBoyが初の外国人審査員となり、682作品が集まる。デビューわずか数ヶ月のピクセルアーティストmae氏のアニメーション作品が最優秀賞に輝く

2020年7月

NHK Eテレの「沼にハマってきいてみた」という番組で「ピクセルアート」が特集され、シブヤピクセルアートが地上波で初めて紹介される

2020年9月

シブヤピクセルアート2020を渋谷ヒカリエとバーチャル渋谷でオンライン & オフライン開催。コロナ禍の開催にも関わらず、受賞展示や表彰式、重田佑介氏とZennyan氏の特別展示「Temperature of Pixel」に総勢1,000名以上が来場する